

問1 衆議院には「任期が4年で解散がある」という特徴があり、参議院には「任期が6年で解散がない」という特徴があります。このように両議院で異なる仕組みがとられている理由を説明したものと、最も適切なものはどれか。(2022年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 選挙の回数を増やすことで、国民が政治に参加する機会を可能な限り確保し、直接民主制を補完するため。
2. 参議院の任期を長くすることで、衆議院よりも参議院の方が常に強い権限を持つように制度を設計するため。
3. 衆議院と参議院の意見が一致しなかった場合に、参議院の判断を最終的な決定とする仕組みを維持するため。
4. 解散のある衆議院で常に最新の世論を反映し、解散のない参議院で長期的な視点から慎重な審議を保障するため。

問2 日本国憲法において、国会が制定した法律や内閣が定めた命令などが、国の最高法規である憲法の内容に違反していないかどうかを、裁判所が決定する権限を何といいますか。(2016年 長野県公立入試 類似)

1. 違憲審査権
2. 団体交渉権
3. 国政調査権
4. 行政代執行権

問3 三権分立の仕組みにおいて、行政権を持つ内閣が立法府である国会との関わりの中で持つ権限について、正しい記述を選んでください。(2025年 群馬県公立入試 類似)

1. 内閣は、国の施策を具体化するために必要な法律案を作成し、国会へ提出することができる。
2. 内閣は、国務大臣の中から法律案の採決を拒否する人物を自由に選定できる。
3. 内閣が提出した法律案は、国会での審議を経ることなく直ちに成立する。
4. 内閣総理大臣は、国会を通さずに国の予算を決定し、執行する権限を持つ。

問4 裁判員制度が適用される裁判の範囲と、そこでの役割について述べた文として正しいものはどれですか。(2026年 福島県公立入試 類似)

1. 家庭裁判所で行われる少年犯罪の裁判が対象であり、更生の観点から市民が保護処分などの内容を決定する。
2. 地方裁判所で行われる重大な刑事裁判が対象であり、裁判員は有罪・無罪の決定と、刑の重さを決める量刑の両方に参加する。
3. 簡易裁判所で行われる軽微な刑事裁判が対象であり、裁判官の不足を補うために市民が判決の一部を代行する。
4. 高等裁判所で行われる第二審が対象であり、第一審の判決が市民の感情と大きくかけ離れていないかを確認する役割を担う。

問5 日本国憲法が定める内閣の組織において、内閣総理大臣以外の国務大臣を任命する権限を持つ人物と、その就任にあたっての必須条件の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2021年 静岡県公立入試 類似)

1. 内閣総理大臣が任命し、かつ、軍人ではない「文民」でなければならない。
2. 内閣総理大臣が任命し、かつ、その半数以上が民間人でなければならない。
3. 天皇が国会の指名に基づいて任命し、かつ、全員が国会議員でなければならない。
4. 衆議院議長が任命し、かつ、行政実務の経験者である事務次官から選ばなければならない。

問6 日本が外国や国際機関との間で条約を締結する際の手続きとして、日本国憲法の規定に照らして正しいものはどれか。(2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 内閣が条約を締結し、その承認を最高裁判所が行う。
2. 国際司法裁判所の命令に基づき、内閣が条約を締結する。
3. 内閣が条約を締結し、その承認を国会が行う。
4. 国会が条約を締結し、その承認を内閣が行う。

問7 日本国憲法において、国会が制定した法律や内閣が決めた命令、または行政が行った処分などが、憲法の内容に違反していないかどうかを裁判所が判断する権限を何といいますか。(2015年 長崎県公立入試 類似)

1. 罷免訴追権
2. 団体交渉権理口
3. 違憲立法審査権
4. 行政不服審査権

問8 日本の司法制度において、一つの事件について三度まで裁判を受けることができる「三審制」が採用されている最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。(2016年 秋田県公立入試 類似)

1. 判決の内容をより厳しいものに変え、社会全体の犯罪抑止力を高めること
2. 慎重に裁判を繰り返すことで事実誤認を防ぎ、当事者の人権を保護すること
3. 裁判官の人数を増やし、一つの判決に対する国家の責任を分散させること
4. 裁判を迅速に進めることで、裁判所の業務負担を軽減すること

問9 国会が制定した法律や内閣が決めた命令が、憲法の内容に違反していないかを裁判所が審査し、最終的に決定する権限のことを何といいますか。(2024年 三重県公立入試 類似)

1. 違憲審査制
2. 罪刑法定主義
3. 国民審査
4. 弾劾裁判

問10 日本の政治体制において、内閣総理大臣が国会議員の中から指名される仕組みに関連して、内閣が国会の信任に基づいて成立し、行政権の行使について国会に対して一体となって責任を負う仕組みを何といいますか。(2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. 直接民主制
2. 三権分立
3. 大統領制
4. 議院内閣制

問11 法廷の正面に3名の裁判官と6名の裁判員が並んで座り、法廷の左右に検察官と弁護人がそれぞれ配置されている状況で行われる裁判について、その特徴として正しいものはどれですか。(2018年 兵庫県公立入試 類似)

1. 検察官が起訴した刑事事件について、裁判官と市民が協力して有罪か無罪かを判断する。
2. 一度判決が出た事件について、納得がいかない被告人が上訴した際に行われる控訴審である。
3. 憲法違反の疑いがある法律について、最高裁判所の裁判官と裁判員が憲法判断を行う。
4. 個人間の金銭トラブルを解決するため、弁護人の主張をもとに裁判員が和解案を作成する。

問12 日本国憲法において認められている「衆議院の優越」のうち、法律案の議決に関する制度の内容として正しいものはどれですか。(2024年 茨城県公立入試 類似)

1. 参議院で否決された法律案であっても、衆議院で出席議員の3分の2以上の多数で再び可決したときは法律となる
2. 参議院が受け取った法律案を60日以内に議決しない場合、衆議院は参議院がその法律案を可決したものとみなすことができる
3. 衆議院で可決された法律案を参議院が否決した場合、内閣総理大臣が裁定を下すことで法律として成立する
4. 衆議院と参議院の議決が異なった場合、いかなる議案であっても両院協議会を開けば衆議院の議決がそのまま法律となる

問13 裁判員制度において、国民が裁判に参加することの主な目的や背景として最も適切な説明はどれですか。(2024年 千葉県公立入試 類似)

1. 裁判官の人数不足を解消し、一件あたりの裁判にかかる時間や国の予算を大幅に削減すること。
2. 国民の持つ健全な社会常識や感覚を裁判の内容に反映させ、司法をより身近なものにすること。
3. 法律の専門家ではない国民の意見のみで判決を出すことで、過去の判例にとらわれない自由な司法判断を行うこと。
4. 起訴された被告人が必ず有罪になるように、市民の厳しい感情を直接裁判に反映させること。